

展示会「InnoTrans 2026」に初出展しました

○2026年9月22日～25日にドイツ・ベルリンで開催された、世界最大の国際鉄道技術見本市「InnoTrans 2026」に、当社として初めて出展いたしました。日本鉄道システム輸出組合（JORSA）が主催するジャパンパビリオン内のJR東日本ブースにおいて、JR東日本グループの一員として、当社の鉄道インフラ技術を世界に向けて発信しました。

公式ホームページ（InnoTrans） : <https://www.innotrans.de/>

■展示会概要



世界17か国から実物車両113両が集結



ドイツ・ベルリン
Messe Berlin（ベルリン国際見本市会場）

Hall 7.2a JORSA ジャパンパビリオン
JR東日本ブース内に出演

9.22(火) ▶ 25(金)

第15回（30周年）・4日間開催

出展者数 59か国・地域から

3,190社

来場者数 過去最多を記録

約17.5万人

展示面積 東京ドーム約4.3個分

20万㎡

実物車両 屋外線路11本に展示

113両

■当社の展示内容

InnoTrans 2026 当社の展示テーマ



ReMoSys®
(構造物モニタリング)

橋脚や橋桁などの構造物の状態を
遠隔で監視・解析するシステム



鉄道防災
ハザードマップ

災害危険度を可視化し、点検・監視・
対策計画の立案を支援



プレキャスト高架橋
(線路近接工事)

部材のプレキャスト化により、
線路近接での急速施工を実現

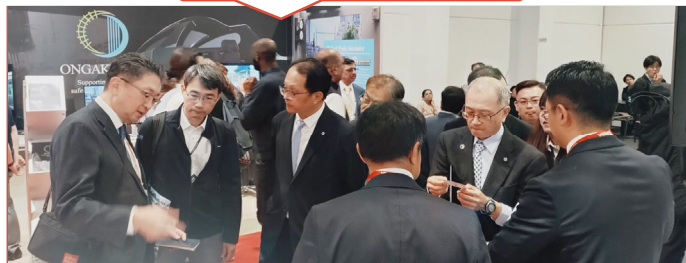


駅モ二®・Gunsyu®
(AI駅業務支援)

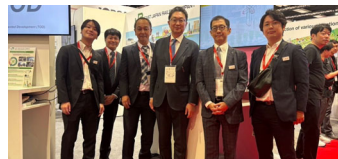
既設カメラ×AIでお客様の安全を
見守り、駅業務を支援

※動画（モニター放映）・英文パネル・英文パンフレットでご紹介

多くの方にご来訪いただきました！



JR東日本ブース内に訪れる来場者



当社ブース説明員



説明員による来場者へのご説明

■InnoTransとは

InnoTrans（イノトランス）は、メッセ・ベルリン社の主催により、1996年から2年に1度ドイツ・ベルリンで開催されている、世界最大の国際鉄道技術見本市です。

- ▶ 鉄道車両・鉄道インフラ・公共交通など、鉄道に関わる幅広い分野の最新技術が一堂に会します。
- ▶ 屋外線路には実物の車両が並び、世界各国の鉄道事業者・行政機関・メーカーが集う国際的な交流の場となっています。
- ▶ 30周年の節目となる第15回の今回は、AIやデジタル化などの先端技術を活用した展示が数多く見られました。



多くの来場者で賑わうJORSAジャパンパビリオン

当社ブースにお越しいただいた皆さまに、心より御礼申し上げます。